

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年6月22日 (2017.6.22)

【公開番号】特開2016-135810(P2016-135810A)

【公開日】平成28年7月28日 (2016.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-045

【出願番号】特願2016-86986(P2016-86986)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/5575 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 47/06 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/5575

A 6 1 P 3/04

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 47/06

A 6 1 K 47/14

A 6 1 K 47/10

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月9日 (2017.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被験体において体脂肪を減少させる方法であって、前記方法は前記被験体にラタノプロスト、脂肪酸エステル、および軟膏基剤を含む組成物を投与する工程を含む、前記方法。

【請求項 2】

前記被験体において体脂肪を局部的に減少させる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記被験体において皮下脂肪を減少させる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記組成物が、ラタノプロスト、脂肪酸エステル、および軟膏基剤から本質的に成る、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記ラタノプロストの濃度が、約 0.001% (w/w) ~ 約 1% (w/w) (両端含む) である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記ラタノプロストの濃度が、約 0.01% (w/w) ~ 約 0.5% (w/w) (両端含む) である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記脂肪酸エステルの濃度が、約 1% (w/w) ~ 約 20% (w/w) (両端含む) である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記脂肪酸エステルの濃度が、約 1 % (w / w) ~ 約 1 0 % (w / w) (両端含む) である、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記脂肪酸エステルの濃度が、約 1 % (w / w) ~ 約 2 0 % (w / w) (両端含む) である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 1 0】

前記脂肪酸エステルの濃度が、約 1 % (w / w) ~ 約 1 0 % (w / w) (両端含む) である、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 1 1】

前記軟膏基剤の濃度が、約 7 0 % (w / w) ~ 約 9 9 % (w / w) (両端含む) である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 2】

前記軟膏基剤の濃度が、約 7 0 % (w / w) ~ 約 9 9 % (w / w) (両端含む) である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 1 3】

前記組成物が保存剤をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 4】

前記保存剤がクロロブタノールである、請求項 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 5】

前記組成物が無菌である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 6】

前記ラタノプロストの濃度が約 0 . 0 0 1 % (w / w) ~ 約 1 % (w / w) (両端含む) であり、前記脂肪酸エステルの濃度が約 1 % (w / w) ~ 約 1 0 % (w / w) (両端含む) であり、前記軟膏基剤の濃度が約 7 0 % (w / w) ~ 約 9 9 % (w / w) (両端含む) である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 7】

前記投与工程が、約 1 日 1 回行われる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 8】

前記投与工程が、前記組成物を顔部、下顎、頸部、腕部、腹部、胸郭部、胸部、臀部 (buttocks)、腰部 (hips)、大腿部、脚部、および / または膝に投与することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 9】

前記投与工程が、前記組成物を眼瞼に投与することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 2 0】

前記投与工程が、前記組成物をオトガイ下部に投与することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 2 1】

前記ラタノプロストの濃度が、約 0 . 0 3 % (w / w) ~ 約 0 . 1 % (w / w) (両端含む) である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 2 2】

前記組成物が、ラタノプロスト、脂肪酸エステル、および軟膏基剤から本質的に成る、請求項 2 1 に記載の方法。

【請求項 2 3】

前記ラタノプロストの濃度が、約 0 . 0 3 % (w / w) ~ 約 0 . 1 % (w / w) (両端含む) である、請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 2 4】

前記組成物が、ラタノプロスト、脂肪酸エステル、および軟膏基剤から本質的に成る、請求項 2 3 に記載の方法。

【請求項 2 5】

前記ラタノプロストの濃度が、約 0 . 1 % (w / w) である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 2 6】

前記組成物が、ラタノプロスト、脂肪酸エステル、および軟膏基剤から本質的に成る、請求項 2 5 に記載の方法。

【請求項 2 7】

前記ラタノプロストの濃度が、約 0 . 1 % (w / w) である、請求項 1 6 に記載の方法

。

【請求項 2 8】

前記組成物が、ラタノプロスト、脂肪酸エステル、および軟膏基剤から本質的に成る、請求項 2 7 に記載の方法。